

水稻品種の適地、適作期を推定するプログラム

【成果の概要】

気象条件に適した品種と作期の選択は、最も基本的で重要な選択項目です。新品種普及・導入の際に細かな空間スケールで適地と適作期を簡単に推定するシステムが必要です。そこで、1km メッシュ気象データを読み込み、岩手県の主要な水稻品種の発育ステージ、冷害、高温障害の発生リスク指標などを予測するシステムを開発しました。

特徴：

- 試験研究あるいは普及機関による利用を想定しています。
- 農研機構メッシュ農業気象データを使用します。これには、1 km×1 kmの単位で過去 40 年間の日気象データと、当日から 26 日先までの予報値が格納されています。
- 特殊なプログラムを必要とせずに MS-Excel 上で作動します。
- 任意の地点で、品種の作付け早限、晩限を推定できます。
- 実況値、予報値、平年値を利用した予測が可能です。

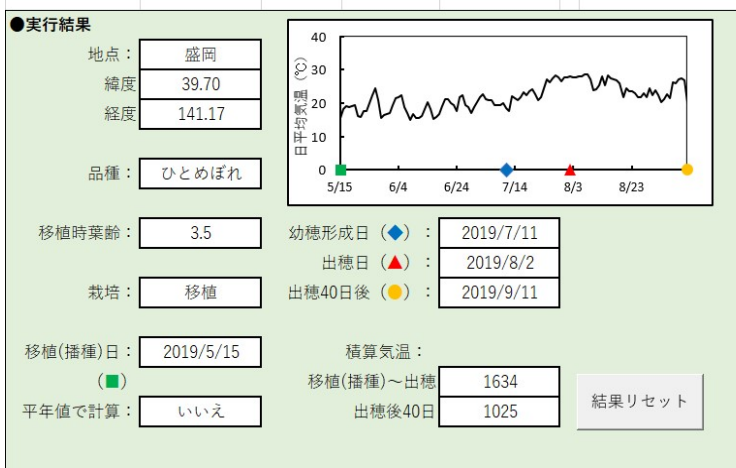
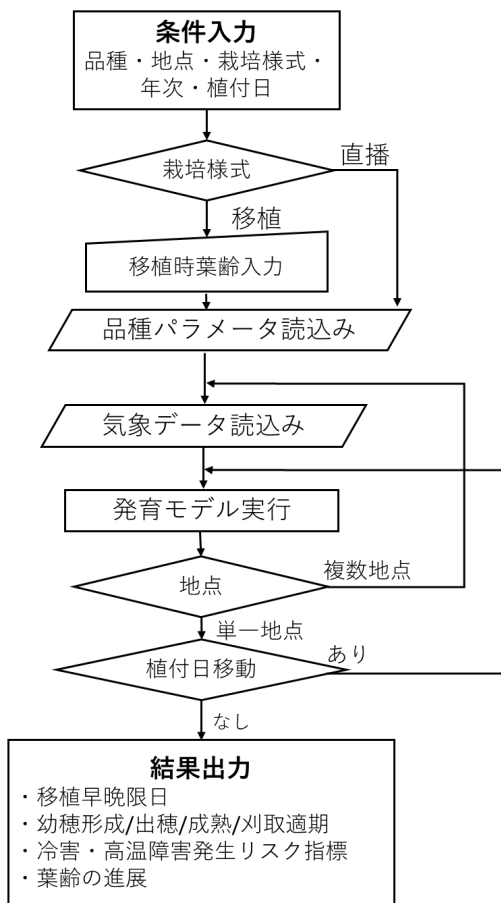


図 1 プログラムのフローチャート

図 2 出力の一例

【期待される効果】

- (1) 試験研究あるいは普及機関による品種の普及・導入計画を支援します。
- (2) 当該年の生育遅速、冷害・高温障害リスクの予測を通じて、早期警戒情報の提供を支援します。

【留意事項】

利用には、「生育モデルコンソーシアム」への加入および農研機構メッシュ農業気象データシステム (<https://amu.rd.naro.go.jp/>) への登録が必要です。

【お問い合わせ先】 農研機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 農業気象グループ
 〒019-8468 盛岡市下厨川字赤平4 TEL. 019-643-3462 FAX. 019-641-7794
 E-mail. thase@affrc.go.jp